

SHIKOKU 四国

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 地区誌



We Serve

No.2

10.11.12 2025年第132号
令和7年12月15日発行

Index

- 1 336-A 地区ガバナー公式訪問
- 5 認証伝達式
- 6 クラブ周年行事
- 7 YCE サマーキャンプ
- 11 クラブ災害支援の紹介
- 17 合同アクティビティ
- 19 LCIF 特集
- 25 地区委員報告・クラブアクティビティ報告
- 26 須崎 LC 献血功労者表彰
- 27 SNS 特集
- 29 336-A 地区会員現況
- 30 物故会員・編集後記

表紙 4 第 72 回地区年次大会のお知らせ

1

2025~2026 年度
1R ガバナー公式訪問日 時 8月30日（日）
場 所 ANAクラウンプラザ ホテル松山1R M・地区誌・Digital 委員
芳野 妙（松山道後）

連日の猛暑が続く中、2025年8月30日（土）ANAクラウンプラザホテル松山に於いて1R地区ガバナー公式訪問が盛大に開催されました。当日はRC・ZC・地区委員とそして17クラブ会長・第一副会長・幹事・会計・会員委員長ら総勢95名が一堂に会し、向和人地区ガバナーはじめ徳島キャビネットの方々4名のご臨席を仰ぎ、和やかな中にも厳粛な雰囲気で進行いたしました。

開会にあたり、白方基進1R-RCより歓迎の言葉が述べられ、続いて向和人地区ガバナーから本年度のガバナースローガンおよび運営方針についてご挨拶を賜りました。特に「Mission1.5を軸に奉仕と会員拡大を進めること」「次世代へとつなぐライオニズムの継承」が力強く語られ、参加者一同、改めて活動の意義と使命の重さを確認する機会となりました。

続いて各クラブから地域に根差した活動報告が行われ、互いの取り組みを共有することで会員相互の理解が深まりました。さらに今後の活動へ向けて、新たな視野を広げる場となりました。

今回の公式訪問は、ライオンズ精神を再認識し、会員拡大と奉仕活動への意欲を新たにする大変有意義な時間となりました。



2

2025~2026 年度
2R ガバナー公式訪問日 時 8月31日（日）
場 所 ホテルグランフォーレ2R M・地区誌・Digital 委員
貴田 敏幸（今治）

残暑お見舞い申し上げます。猛暑が続く8月31日（日）、四国中央市のホテルグランフォーレにて「2R地区ガバナー公式訪問」が開催されました。

篠原悟2R-RCの先導で、向和人地区ガバナーはじめ6名のキャビネット役員の方々が、満場の拍手の中堂々と入場されました。そして地区ガバナーの若さ、キャビネット幹事及び会計の2人が女性です。本日の出席者の皆様も、伝統あるライオンズにおいて、新しい風を感じられたのではないかでしょうか。

篠原RCのゴング並びに開会宣言の後、地区ガバナー並びに地区役員・地区委員の紹介、各クラブの出席者の紹介があり、地区ガバナーより「ライオンズクラブの基本理念は奉仕であり継続、テーマは会員の拡大である。そしてなにより大切な事はライオンズクラブを楽しみ、生涯を通じて大切な友を作る事が出来れば、最高のライオンズクラ

ブを送れるでしょう」という、素晴らしい挨拶がありました。

その後、各ゾーンごとにガバナー同席のもと記念撮影が行なわれ、懇親会に移動し美味しい料理やお酒を楽しみ、2Rの会員同士の親睦が深まり、有意義なガバナー公式訪問を終える事が出来ました。

ホストクラブの四国中央法皇ライオニズの皆様ありがとうございました。





2025~2026 年度
3R ガバナー公式訪問

日 時 9月6日（土）
場 所 宇和島市総合福祉センター

3R M・地区誌・Digital 委員
清家 達也（宇和島）

9月6日（土）に宇和島市総合福祉センターにおいて、徳島キャビネットより向和人地区ガバナー他8名の役員の方をお迎えし、3R地区ガバナー公式訪問が開催されました。

式典は、松浦司3R-RCの開会宣言に始まり、地区役員・委員・各クラブの紹介、歓迎の言葉などがあった後、向和人地区ガバナーからの挨拶を頂きました。主な内容は、今年度の地区の目標として会員拡大5,000人（会員1人が1人入会させる）、LCIF50万ドル（会員1人あたり100ドル）というものでした。この目標は難しいと思えば難しいが、簡単だ！何とかなる！と思って取り組めばうまくいく。とにかく楽しいクラブ作り、楽しい地区

運営を目指して頑張っていこうと力説されました。参加した会員も熱心に聞き入っていました。その後、第一・第二副地区ガバナーの挨拶、記念品贈呈、各クラブ会長の今年度の目標発表等、スムーズに会は進行し、式典は終了しました。

終了後には場所を変えて懇親会が行われました。クラブの壁を越えて素晴らしい交流が出来ました。本当に充実した公式訪問の一日になりました。



2025~2026 年度
4R ガバナー公式訪問

日 時 8月2日（土）
場 所 ホテルマリンパレスさぬき

4R M・地区誌・Digital 委員
小竹 彰（高松栗林）

猛暑の8月2日（土）4Rガバナー公式訪問が参加者総勢69名のもと、向和人地区ガバナーを迎えて、ホテルマリンパレスさぬきで開催されました。

まず多田登美子4R-RCの「向ガバナーは私の息子と同じ年齢、私はお母さんのような存在」との軽妙な言葉で始まる歓迎の挨拶後、向和人地区ガバナーの挨拶となりました。

各クラブ会長に対し向和人地区ガバナーより公式訪問記念品が贈呈された後、ガバナースローガン「輝く未来へ ウィサーブ」、ガバナーキーワード「魅力」に沿った活動に

ついて、これからは若い世代のライオンズクラブを作っていく必要を訴え、若い世代を取り込むためには魅力がなくてはならないと熱く抱負を語られました。続いて地区コーディネーター及び各委員からの要望がありました。

休憩をはさんで、各クラブからは今年度の目標と抱負が発表された後、質疑応答があり、終始熱心で活気のある公式訪問となりました。

式典後の懇親会では、キャビネット並びに各クラブとの交流が活発に行われ、有意義な地区ガバナー公式訪問でした。



5

2025~2026 年度
5R ガバナー公式訪問日 時 8月3日 (日)
場 所 まなべ結婚式場5R M・地区誌・Digital 委員
馬場 久美子 (丸亀京極)

毎年のように、地球温暖化により猛暑、酷暑が続くなか8月3日(日)5R ガバナー公式訪問が開催されました。RC、ZC、地区役員をはじめ14クラブの会長、第一副会長、幹事、会員委員長 総勢85名で出迎えるなか、津山聖司RCの先導に向和人地区ガバナー率いる篠原孝尚第一副地区ガバナー、金谷光人第二副地区ガバナー、木内緑キャビネット幹事、山崎律子キャビネット会計らの入場を盛大な拍手によりお迎えしました。

向和人地区ガバナーの挨拶では、今期運営基本方針として継続テーマの会員拡大、今年3年目となるMission1.5は4年間で世界の会員数を150万人にするという目標です。各県で1クラブ、各ゾーンで1つの支部及びスペシャリティクラブの創設、336-A 地区で5,000人がmissionとなります。

LCIFでは336-A 地区今期目標は50万ドル、会員1人100ドルを目標としています。

その後、質疑応答や14クラブ会長の今年度の目標や抱負、地区コーディネーター、各委員からの要望等々中身の濃い公式訪問になりました。

休憩を挟み場所を移動して懇親会を開催し、和やかな雰囲気で会員相互の親睦を深めた公式訪問となりました。



6

2025~2026 年度
6R ガバナー公式訪問日 時 8月23日 (土)
場 所 城西館6R M・地区誌・Digital 委員
五藤 博子 (高知桜)

連日の猛暑の中、6R地区ガバナー公式訪問が開催された。三谷RC先導のもと、向地区ガバナー他役員が盛大な拍手のなか入場。歓迎の挨拶や地区ガバナーへの激励の言葉などが続いた。

向地区ガバナーへの質疑応答は、複合地区の問題、ゾーンの合併の問題など、将来を見据えて深く考えねばならない課題が多い。特に3Zは他のクラブとの距離が遠く、まとめるのは難しい。向地区ガバナーには、質問に対して誠実に対応していただいた。

クラブ会長の抱負や目標はよくまとめられていて、

真面目に取り組んでいることが分かり、クラブ同士の参考にもなった。会員1人ひとりの輝きが増すよう「魅力」ある会員を目指していきたいと思う。

とても意義ある公式訪問となり、これから向地区ガバナーのリーダーシップに期待が高まる。その後の懇親会も和やかに行われ、更なる交流が深まった。



7

2025~2026 年度
7R ガバナー公式訪問日 時 8月24日 (日)
場 所 高知プリンスホテル7R M・地区誌・Digital 委員
上森 康玄 (高知鏡川)

2025年8月24日(日)高知プリンスホテル(高知県高知市)に於いて、ライオンズクラブ国際協会336-A地区7R地区ガバナー公式訪問が行われました。

向和人地区ガバナーが自称アマゾネス軍団(キャビネット幹事、キャビネット会計、キャビネット役員)を率いて入場されました。山本隆心7R-RCの開会ゴングから始まり、池田和広3ZCによる地区ガバナー並びに地区役員・委員のご紹介の後、西村方志2ZCが出席クラブのご紹介(会長、第一副会長、幹事、会計、会員委員長)をいたしました。その後、山本隆心7R-RCより歓迎の挨拶をし、続いて元地区ガバナー・地区名誉顧問の酒井公一様と橋本好充様より地区ガバナーに対して激励の言葉が述べされました。

それに答える形で、向和人地区ガバナーのご挨拶で印象的だったのが会員増強の目標は現実的な1名にするよりも10名にして臨むべきとのお言葉があ

りました。目標は大きく掲げてトライするべきです。その後、篠原孝尚第一副地区ガバナーと金谷光人第二副地区ガバナーからご挨拶をいただきました。

最後に7リジョン14クラブ会長の今期目標と抱負を発表していただいた後、公文菜穂地区WYPTコーディネーターからの伝達事項がありました。

内容が濃く実りある本会が無事に終了しました。また、懇親会に於いてもさまざまな意見交換がされていたようです。皆様ご苦労様でございました。

今期、向和人地区ガバナーの躍進、発展をご期待申し上げましてご報告とさせていただきます。



8・9

2025~2026 年度
8・9R ガバナー公式訪問日 時 7月27日 (日)
場 所 徳島グランヴィリオホテル8R M・地区誌・Digital 委員
森 博美 (阿南)

7月27日酷暑の中、徳島グランヴィリオホテルにて336-A地区の地区ガバナー公式訪問が開催されました。今回は8R11クラブ9R12クラブの多人数での開催となりました。

地区名誉顧問の川辺さんのご挨拶など休憩をはさみ、地区キャビネット幹事の木内さんの司会、進行でまずは向地区ガバナーからの各クラブへの要望があり、何といっても会員増強、5,000人を目標とする、そしてLCIFの今期の目標は50万ドル、会員1人100ドルを目標とすると宣言しました。今期のガバナースローガンは「耀く未来へウィサーブ」レオクラブやキャンパスクラブを活用して若い世代のライオンズクラブを作っていくと強く語ってくれました。

そして各クラブ会長の目標と抱負があり、その後地区コーディネーターや地区委員からの要望がありました。多人数で長引くと思っていた会が大変スムーズに進行しました。

その後の懇親会も挨拶は短く、そして懇親会を楽しむという向地区ガバナーの魅力で最後までたくさん

人が残ってくれました。会の運営もトップダウンでなく、会員の意見を吸い上げて生かしていくという方針で、交流を深め和やかな懇親会となりました。



坂出中央みらいライオンズクラブ
暖かな雰囲気の中で認証伝達式開催
 ~奉仕がつなぐ、生きがいと未来に We Serve~

2025年6月22日(日)、ホテルアネシス瀬戸大橋において、坂出中央みらいライオンズクラブの認証状伝達式(チャーターナイト)が盛大に開催されました。

本クラブは、2025年4月、21名のチャーターメンバーで誕生。336-A地区の一員として、5R-1Zでは15年ぶり、坂出市では4番目のクラブとして正式に認証されました。

式典当日は、石井淑雄地区ガバナーをはじめ、スポンサークラブである坂出白峰ライオンズクラ



ブの皆様、中四国エリアから多くのご来賓・クラブメンバーのご出席を賜り、総勢136名・25クラブの皆様にご参加いただき、温かな雰囲気の中で執り行われました。

私たちのクラブスローガンは、「奉仕がつなぐ、生きがいと未来に We Serve」。奉仕を通じて“人と人のつながり”が生きがいを育み、地域の未来へつながることを願い、日々活動を進めています。

地域の歴史や自然と共に歩む姿勢を象徴する活動として、四国遍路の道を守り、次世代へ受け継ぐ「遍路道清掃奉仕」をスタート。今後は、世界遺産登録に向けた地域の取り組みにも連携し、地域資源の保存や価値発信に貢献してまいります。

坂出中央みらいLC 会長 蒲田 辰雄

さぬき未来ライオンズクラブ
認証伝達式開催
 ~結成報告と今後の抱負~

私たち「さぬき未来ライオンズクラブ」は、2025年6月28日、ホテルマリンパレスさぬきにおいて認証状伝達式典を挙行し、正式に活動を開始いたしました。当日は、国会議員の先生方、地区ガバナーをはじめ、多くのご来賓並びにスポンサークラブである志度ライオンズクラブの皆さまにご臨席賜り、温かい励ましと祝意を頂戴いたしました。

本クラブは“災害支援および受援の在り方を研究し、その実践を行うスペシャルティークラブ”として立ち上げられました。大規模災害が頻発する現代において、地域が自ら助け合い、支え合い、そして「受援力」を高めていくことが今後の重要な課題となっています。私たちは、ライオンズクラブの精神に基づき、地域の安心・安全に資する新しい支援モデルを構築し、さぬき市をはじめ香川県全域、さらには各地のクラブとも連携しながら実践的な活動を展開してまいります。

認証状伝達式典では、チャーターメンバーの宣誓とともに、ガバナーより認証状を賜り、新しい一步を踏み出す重みと責任を胸に刻む機会となりました。また祝宴では、心蓮華による演舞、各クラブ会長によるみらいへの宣言、そ

して多くの励ましの言葉が寄せられ、クラブとしての絆をさらに深めるひとときとなりました。

新たなクラブだからこそできる挑戦があります。地域の課題に真正面から向き合い、未来を担う世代が「ライオンズ」として活動する姿を示しながら、地域社会に新たな価値を届けていくことが私たちの使命です。

結成にあたりご支援いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

さぬき未来ライオンズクラブは、名前の通り“未来を築くクラブ”として、地域とともに歩み、行動し、成長してまいります。

さぬき未来LC 幹事 山下 辰典





松山道後ライオンズクラブ 結成 65 周年記念式典・祝賀会

8月3日(日)、ANAクラウンプラザホテル松山にて、松山道後LC結成65周年記念式典並びに祝賀会が開催されました。ライオンズクラブの立て付け上、7月1日から期のはじまりを迎えるにあたり、はじまって直後の8月に式典を迎えるなんて、なんてクレイジーなんだとも思われましたが、私の想いとして結成日である8月3日に拘らせてもらいました。昨年12月30日に逝去したチャーターメンバーの故L門屋 齊にもこの日と一緒に迎えたい気持ちでいっぱいでしたが、その願いは叶いませんでした。そんな気持ちと共に、8月3日の開催を迎えるまでも大会実行委員長(L井上竜治)をはじめ実行委員会メンバーたちによる

数々の運営の賜物であると思っています。

1960年8月3日にスポンサーである松山ホストLC様のお力添えにより産声を上げた松山道後LC・・・。そして、姉妹クラブ提携して50年の時を共に歩みを進める土居会長をはじめとする大分LC様も多く参加いただく中、結成から65年経った今、大会委員長(L村田裕司)の挨拶を筆頭に、松山道後LC会長(L門屋光彦)の挨拶が行われ、次代に向けた大きな一步を踏み出すことができました。

『百花繚乱～信頼を築ける松山道後の花となれ！～』

松山道後ライオンズクラブ 会長 門屋光彦



YCE SUMMER CAMP

2024~2025 ライオンズクラブ国際協会 336-A・B 地区合同

YCE 夏期キャンプ レポート!

家族の一員として外国の家庭に一定の期間滞在し、その間に自国の文化を伝え、訪問国の文化を学び日常生活を体験する。訪問先の人々と相互理解を深め、国際感覚を養い親睦と協調の精神を培う、それがYCE（ユースキャンプ及び交換プログラム）の目的です。



336-A 地区YCE・国際関係・
ライオンズレオ委員会
委員長 生田 素久
(徳島すだち)

コロナの影響にて長らく休止を余儀なくされておりましたYCEキャンプですが、昨年の冬期キャンプより復活し、今年も7月27日から31日までの4泊5日の期間にて開催されました。

今回は7月27日～29日の前半をA地区が担当し、29日～31日の後半をB地区が担当するという形での実施となり、前半のA地区におきましては徳島県鳴門市を拠点とし、2泊3日で行われました。

台湾から5名(男性1名・女性4名)モルドバから女性1名の計6名の参加となり、前半においては徳島市の阿波踊り会館にて阿波踊りを鑑賞＆体験、眉山からの眺望を堪能した後、徳島すだちLC所属の善集寺住職による坐禅・写経を体験、鳴門市での観潮船からの鳴門のうず潮見学等々、様々な体験をしてもらい、後半地区の岡山県津山市へと引き渡しを行いました。

来日生におきましては、滞在中に大きな病気や事故もなく過ごせた事、本当に安堵しております。

最後に今回、台湾へご子息を派遣及び台湾生の受け入れをしてくださった高知LCの弘瀬様、台湾生の受け入れをしてくださった高松源平LCの田村様、松山城東LCの武知様、加えまして前複合の副委員長の斎藤様にはこの場をお借りしまして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



YCE SUMMER CAMP 受入報告

大事な家族になった 可愛い娘に逢うために…

7月22日、出迎えた岡山駅のホームで、台湾からやってきたイーちゃんと初対面。来日前からLINEで情報交換しており、やっと本人に会えたことが嬉しくてたまりませんでした。

イーちゃんに日本で体験させてあげたい事が多過ぎて、厳選しながらスケジュールを計画。前半は、クラブ例会訪問・歓迎会・浴衣を着て商店街や道後界隈を散策・今治タオル美術館・松山城見学など、主に観光名所を案内。イーちゃんはどこ行っても喜んでくれ、特にアニメが大好きで、キャラクターを見つけるとテンション上がります。

7月26日、友人や私の息子が所属する、砥部LCの皆様との交流では心温まるおもてなしに感謝。「砥部むかしのくらし館」でクラブメンバーの出迎えを頂き、愛媛の古民具などを見学し、お土産も沢山頂きました。砥部焼の絵付け体験では、砥部LCのメンバーで砥部焼窯元きよし窯の山田公夫氏に直々に教えて頂くという贅沢な時間。砥部町訪問の思い出と共に、砥部焼のお皿とカップがお土産となりました。

明るく元気なイーちゃんでしたが、サマーキャンプ後半の岡山・那岐に到着してから様子に変化。人前で挨拶をすると、極度の緊張により体調が急変。2度目

ホストファミリー
武知 美穂（松山城東）

の発作の際、部屋で涙を拭いてあげて肩を撫でていると、「家に帰りたい」と言い出したのです。台湾の家かなと思ったら、私の家でした。「今から松山に帰る？」と聞くと、「本当にいいの？帰りたいけど遠いから運転が大変…」と本音。役員の方に相談し、急遽那岐から松山に帰ることにしました。「なんでそんなに優しくしてくれるの？」と聞くので、「イーちゃんは大事な家族だからね」と話しながら荷造り。車に乗った途端安心したのか、松山に到着するまでスヤスヤと寝入っていました。

そんなことがあって信頼関係がより深まり、松山に帰ってからは本当の親子のように過ごすようになりました。お客様扱いではなく、一緒にお料理したり、松山で友達になった同世代の女の子を家に招いたり、庭で花火をしたり。何気ない日常が平穏で、イーちゃんは徐々に元気を取り戻しました。

見送りの為、岡山に前日入りし、ホテルの部屋でふたりの時間を過ごし、別れを惜しました。しきりに「帰りたくない」と言い、「また会おうね」と約束し、イーちゃんは台湾に帰っていきました。

今でもLINEのやりとりをし、来年には台湾に行く約束をしています。可愛い娘に逢うために…



YCE SUMMER CAMP 受入報告

互いの絆や思い出を深める 素晴らしい体験でした

先日、台湾のライオンズクラブから17歳の高校生が我が家にホームステイにやってきました。

我が家は8人家族ですが、次男と長女、次女は今県外で暮らしており、現在は夫婦と長男(28歳)、三女(10歳)、そして78歳になる母の5人で暮らしています。

最初は緊張していた様子でしたが、日を重ねるごとに家族の一員のように溶け込み、笑顔で過ごしてくれるようになりました。

滞在中には大阪万博の会場を訪れ、未来を感じさせる展示と一緒に胸を躍らせたり、夏の夜空を彩る花火大会を家族そろって楽しんだりと、たくさんの思い出を共有しました。

特に10歳の三女とはすぐに打ち解け、年齢差を超えて姉妹のように仲良くなりました。二人で遊んだ

ホストファミリー
田村 正廣 (高松源平)

り、秘密話をしたり、夜遅くまで語り合う姿は微笑ましく、ある晩などは朝の4時まで楽しそうに話し込んでいました。

その光景を見守る私たち家族にとっても、国や文化を越えた友情が芽生える瞬間は心温まるものでした。

今回のホームステイは、家族にとっても貴重な体験となり、互いの絆や思い出を深める素晴らしい時間となりました。

彼女が帰国する日、別れを惜しんで涙を流す姿に、言葉では言い表せないほどの感動と温かい気持ちが込み上げました。

これからもこの出会いを大切にし、遠く離れていても心でつながっていきたいと思います。



YCE SUMMER CAMP 受入報告

本当に良い経験と 素晴らしい出会いに感謝

このたび、息子・弘瀬晃一(18歳)が台湾へ2週間の派遣を受け、同時に台湾から林承德(リン・チェンデ)くん(16歳)を高知ライオンズクラブで受け入れ、我が家で2週間を共に過ごしました。

派遣のきっかけは、高知ライオンズクラブYCE国際関係・レオ委員会副委員長の斎藤明子さんからお誘いをいただいたことでした。息子に「台湾へホームステイに行ってみないか?」と聞くと、即答で「行く!」と返事が返ってきました。その理由は、学校の修学旅行が本来台湾だったものの、コロナ禍で中止になってしまったことになりました。

受け入れについては、「息子が台湾でお世話になるのだから、こちらもぜひ受け入れを」と考えましたが、ホームステイの受け入れには家族全員の協力が不可欠です。家族会議の末、受け入れを決めました。

【妻の思い】

妻の思いとして、当初は「家族以外の人と一緒に生活するなんて絶対に無理!」というほど、強い抵抗感があったそうです。それでも、「自分や子どもたちにとって社会勉強や人生経験の一つになるはず」と考え、ホームステイの受け入れを前向きに決断しました。

林承德(リンちゃん)くんの第一印象は、まさに200点満点。

ホストファミリー
弘瀬 健治 (高知)

「台湾のアイドルが来たのかと思うほど可愛らしく、とにかく“かわいい!”という気持ちでいっぱいになつた」と話していました。

来てすぐに家族の一員のように自然に溶け込み、子どもたち(心美・美空・晃一)とも年齢が近かったことから、すぐに打ち解けて楽しく過ごすことができました。

妻や子どもたちにとっても、本当に良い経験と素晴らしい出会いとなりました。

一方、台湾に派遣された息子のことは、親として非常に心配していました。しかし、息子本人からはあまり連絡がなかったものの、受け入れ先のご家庭の息子さん(フーくん)からは、たくさんの写真が定期的にLINEで送られてきました。その写真から、息子が受け入れ先の家族とすっかり打ち解け、楽しく過ごしている様子が伝わり、心から安心しました。

台湾での2週間、異文化に触れ、YCEキャンプでは12カ国の中世代の若者たちと交流し、一回り成長して帰国しました。今回のYCE受入・派遣事業は、高知ライオンズクラブ70周年事業の一つでもあります。

高知ライオンズクラブのメンバーの皆さん、そしてライオンズクラブ国際協会の皆さんには、息子にこのような貴重な機会を与えていただき、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



クラブ災害支援の紹介

災害がいつどこで起こるかは、ライオンズは真っ先に駆けつけて支援します。その支援活動の一部を紹介します。

西日本豪雨ボランティアに参加

～「頑張って下さい」の言葉すら掛けられない状況に直面して～

2018年7月7日に西日本を襲った記録的な豪雨は、愛媛県の南予地区に甚大な被害をもたらしました。ライオンズクラブとしてドネーションを早速募りましたが、毎日のように報道される現場の悲惨な状況は簡単に復興できる状況ではなく、ライオンズクラブの強みでもある現場協力を実施しました。参加した日は被災から3週間経過していましたが、とても人の暮らしができる状況ではなく、私たちに割り当てられたある民家に到着すると、夏の猛暑の中、断水・停電の状況で一生懸命我が家を清掃されているご老人に出会いました。「よろしく頼みます。」私たちは今日1日出来る限りのお手伝いをして帰ろうと決意しました。猛暑の中では我々も簡単に体力を奪われ、15分作業して10分休憩と水分補給の繰り返し。昼休憩を含めて4時間30分の作業しかできませんでした。まだまだ復旧にはやることがたくさんある状況の

松山湯築 LC GAT 委員長

三根生 啓太

中、やるせない気持ちになりました。「頑張って下さい」という言葉が何故か軽すぎて声を掛けられず被災地を後にしました。ボランティアセンターに到着すると、先日現地に来て活動された「さだまさし」さんの歌が身に沁みました。



2つの防災関連アクティビティに参加しました

～若い力に全力でエールを贈る!!～

松山中央 LC 会長

河本 圭仁

当クラブでは、今年度に入り2つの防災関連アクティビティを実施させていただきました。一つは、松山逃げ遅れゼロプロジェクトの一環として「とどけ！命のはがきプロジェクト」というアクティビティであり、松山市内の中学校31校へ、4,216枚の「命のはがき」を贈呈させていただきました。子どもたちが、いつ発生するか分からない災害時に、自分の大切な人を守るために、一生懸命心を込めたメッセージを1枚のはがきに乗せて、大切な人に届けるというアクティビティです。今の情報化時代では、成し遂げられない大切な要素が含まれていると、我々メンバーは確信しています。

また、もう一つは、今年度新規アクティビティであり、松山市が防災教育の一つとして若い世代の防災リーダー育成のため開催している、避難シミュレーションゲーム「風水害24」です。「風水害24」とは、大規模台風が接近、直撃、通過するまでの24時間疑似体験し、その中で風水害の備えや避難判断を身につけるという内容となって

います。この趣旨に賛同し、共催させていただいておりますが、当クラブメンバーも参加し、他の参加者の方々と共に楽しみながら学ばせていただきました。

災害は、年々その頻度と強度を増していますが、それに立ち向かう若い力に全力でエールを贈ります。



結成 30 周年記念アラート講演を開催しました

～「人と自然との共生」を願って～

松山白鷺 LC 会長
田中 新太郎, 濱田 章裕

2022年5月14日『結成30周年記念アラート講演』を開催いたしました。

当クラブは結成当初からの基本理念である「人と自然との共生」のもと、環境ビジョン「白鷺の住めるまちづくり」、青少年育成ビジョン「子どもの未来はまちの未来」を策定しております。そして新たに3本目ビジョン策定の先駆けとしてアラート事業にも注力し、この度、松山市総合コミュニティセンター キャメリアホールにて本講演を開催する運びとなりました。

この講演は、松山市・松山防災リーダー育成センターのご協力のもと、今後必ず起こりうる「南海トラフ巨大地震」発生時、津波・揺れに伴う建物倒壊など、さまざまな災害リスクに対して「より安全な防災行動」の取組みに関するアラート講演です。

当日は一般的な来場者を含む総勢220名のご参加をいただき、講演3部構成で行われました。

講演1部では、歴代愛媛大学理事・副学長・愛媛大学防災情報研究センター長・愛媛大学社会連携推進機構長などを務められ、現在松山防災リーダー育成センター長であります矢田部龍一様に「南海トラフ巨大地震に備える人材育成への総合的な取組み～社会奉仕団体に期待する～」と題して講話をいただき、東日本大震災などを例にあげ「家族を愛することの重要性」や「常日頃からの意識をしておくこと」

など、とても興味深い内容の講話をいただきました。

講演2部・3部では、2022年防災士功労賞、2021年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」では、ぼうさい大賞を受賞し、今年3月には松山市市民活動推進事業表彰などを受賞しました防災リーダー・ジュニア防災リーダーによる「土と水の関係～雨が降った時の土砂の崩れ方～」や「私の住む地域にある「重信川」を知る」を題材とした発表、防災クイズ・エコノミー症候群対策体操などが行われ、特にキャメリアホールに突然地震警報が鳴り響いた時には場内が一瞬騒然とし、ほぼ全員が腕や持っている鞄などで頭部を覆いうずくまる姿がとても印象的でした。

講演の最後に回収しましたアンケートでは、災害リスクに対する心構えや取組みへの再認識ができたことや、講演内容がとても役に立ったというコメントを多数いただきました。

松山白鷺ライオンズクラブではアラートに関する取組みを通じ「人と自然との共生」を願い、新たな3本目のビジョン策定に向け、これらのアクティビティを発展させてまいります。

最後になりましたが、ご参加いただきました皆さま、運営にご協力いただきました関係者の皆さんに心よりお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。



南海トラフに向けた避難用軽トラック制作

～軽トラから生まれる「未来のキャンピングカー」～

伊予吉田 LC 会長
土山 直美

●プロジェクトの目的●

1. 地域の若者と企業の連携による創造教育の推進
高校生が実際の車両設計・デザインに参加し、地域課題を自らの発想で解決。
2. 柑橘文化と防災意識の融合
農作業用コンテナを再利用し、避難時にも活用できる「防災仕様ベッド・収納機能」を開発。
3. 観光・地域プランディングの推進
完成したキャンピングカーを使い、「みかんのまち吉田三間」を全国に発信する移動型プロモーションを実施。
4. 地元企業の技術力・持続可能なまちづくりのPR
ローカル企業のものづくりを可視化し、SDGs型プロジェクトとして展開。

●企画内容●

軽トラキャンピングカー設計概要

- ・ベース車両：軽トラック
- ・コンセプト：「地域の柑橘 × 防災 × 旅」
- ・主な仕様：南海トラフ・災害時の避難ハウス
- ・柑橘コンテナを活用した収納兼ベッド構造
- ・脱着式キャンパーシェル
- ・ソーラーパネル・LED 照明搭載
- ・防災グッズ収納ボックス
- ・地域みかん柄の外装デザインなど

●広報・PR戦略●

- ・SNS連動(Instagram / X / YouTube Shorts)
- ・キャンペーン展開
- ・地元テレビ・新聞取材誘致
- ・完成発表会ライブ配信(商工会アカウントにて)
- ・プロモーションカーとして道の駅・高校・イベント会場を巡回



●プロジェクト参加者●

- ・吉田三間商工会(広報 イベント費 印刷 SNS 運営 配信機材)
- ・愛媛県立吉田高校・機械建築科(製作 コンテナ関連 再利用・加工 デザイン)
- ・伊予吉田ライオンズクラブ(材料費 部材木材 塗料 金具等寄付)
- ・フレッシュつちやま(軽トラ提供 協賛)
- ・ABC STUDIO 竹本宗文(設計 監修)

●今後の展開●

- ・完成車を地域の防災訓練や観光イベントで展示
- ・高校生がプレゼンを行い、地域メディアへ発信
- ・将来的には「みかんキャンパーシリーズ」として他地区へ展開可能

●まとめ●

このプロジェクトは、**「地域資源 × 教育 × 防災 × 未来のモビリティ」**を融合した、地方創生型キャンピングカー開発のモデルケースです。

地域の高校生が手がけたデザインが、町を走り、人と人をつなぎ、災害時にも役立つ。

そんな“みかんの香りがする未来”を、伊予吉田から全国へ発信していきます。



能登半島支援で学んだ大切なこと ～被災者の方の立場に立って行動する～

ライオンズクラブ国際協会336-A地区では、2024年9月の能登半島豪雨災害に際し、被災地支援のため救援物資の収集・輸送を実施しました。断水・停電・土砂流入など深刻な被害を受けた地域に対し、各クラブの協力のもと、食料品・飲料水・生活用品・衛生用品等を四国各地から集積し、愛媛(東予港)から大阪南港経由で金沢市受入拠点まで輸送しました。12t トラック1台と普通車1台を使用し、今治LC3名、東予LC1名が現地搬入を担当。金沢では約20名が荷降ろしに協力し、円滑な支援活動が行われました。本事業は「We Serve」の理念のもと、会員の奉仕の心で展開された活動であり、被災地の一助となりました。

その後、11月の第1回アラートセミナー出席を通じ、有事の際に迅速な対応を行うため、平時からルールを定める必要性を痛感しました。さらに2025年3月、茨城県水戸市で開催された日本ライオ

ンズ主催「第3回全国アラートフォーラム」に参加し、全国のアラートパーソンとともに災害対応の重要性を再認識しました。特に「支援する側は被災者の立場に立って行動すべき」との講話が印象的で、支援体制整備の重要性を改めて感じました。今後、地区アラート委員として学びを深め、迅速かつ的確な災害対応に努めてまいります。



災害復興支援チャリティーコンサート開催について ～能登半島地震・豪雨災害復興を願って～

高知鏡川 LC 会長
山下 利得

2LC合同第8回・能登半島地震・豪雨災害復興支援チャリティーコンサートを令和7年4月25日(金)に高知よさこいライオンズクラブと開催いたしました。

会場は土佐神社(しなね様)の境内で厳かな雰囲気の中、演奏者の「エルスール」は結成24年を迎えて、幅広いジャンルを演奏されます。境内にはヴァイオリンやフルートの音色が響きわたりました。聞いている私たちは心が和み、癒される時間になりました。

観客にコンサートの趣旨をご理解いただき、多くの方が募金に協力してくださいました。また、市内LCにはチケットや募金で協力いただいております。

次回も演奏者に好評の土佐神社(しなね様)境内で、2026年5月頃の開催を計画しています。

長く続けていけるよう会員一同努めて参ります。



東北大震災、うどんのおもてなし

～「私たちを忘れないで！」重く受け止めた言葉～

丸亀京極 LC 青少年・LCIF・
ライオンズクラブ委員会委員長

加藤 正員

2011年3月11日 午後2時46分、東北宮城県沖でマグニチュード9.0の大地震発生。東北地方は壊滅的被害を受けました。私は、その年の7月に、被災地にボランティア活動に行きました。現地の人との交流の中で、再度訪れることを決意しました。

丸亀京極ライオンズのメンバーに話をし、私たちができる支援として「うどんのおもてなし」を、現地(宮城県亘理町)で行うことになりました。

2012年、2013年、2014年、2019年計4回、うどん麺、出汁、なべ釜、うどん切り、うち板、綿棒、ごみ袋などを車に積み込み、現地で、うどん打ちを見てもらったりながら、食べていただきました。東北の寒さをしつかり感じる中、被災した方々の気持ちが少しでも暖まるることを願って、メンバー約15人で一生懸命作りました。

現地では、皆さんの目の前で、打ったうどんをゆで、食べていただいた時、「美味しい！」「暖まる！」の声をいただき、うれしそうな顔を見せていただいたこと

で、私たちの方が元気をもらいました。

うどんを食べながら、被災した時の体験を聞かせていただきました。「大きな揺れの後の、津波は忘れない！」「今でも怖くて海に行けない！」「家族を津波で失っても、復旧に行かなければならなかった」など、一生を変える出来事があったことを、振り絞って話してくれました。南海大地震を控える私たちにとって、たいへん貴重な話をしていただいたと思っています。

1回目の訪問の時に、皆さんに「今、何を一番望みたいですか？」とたずねると、「お金より、あなたがもう一度、ここに来てください！私たちを忘れないで！」と言われました。この言葉を重く受け止めなければならぬと思いました。それで、その後計4回うどんのおもてなしに行くことになったわけです。

この気持ちは、2024年1月能登半島地震が起き、私たちは、七尾に「うどんのおもてなし」に行ったことに繋がっているわけです。



能登災害支援

～笑顔で美味しいと喜んで頂きました～

令和6年1月1日に石川県能登地方はM7.6、最大震度7の地震に見舞われました。元旦の夕方のまさかの未曾有の大災害でした。丸亀市と七尾市とは親善都市の提携を結んでいる関係もあり、遅まきながら令和6年10月18日～20日の3日間、丸亀京極LC他、有志17名でうどん接待に行って参りました。

仮設住宅に身を寄せる被災された皆様に本場の讃岐うどん(打込みうどん)を振舞うと、中にはお代わりをする方もおり、瞬く間に400食が完食となりました。笑顔で美味しい、美味しいと喜んで頂く姿を見ると長旅の疲れも吹き飛びました。

5R M・地区誌・Digital 委員
馬場 久美子 (丸亀京極)

七尾・田鶴浜LCのメンバーの方々にはチラシを前もって仮設住宅に配って頂いたり、野菜類の仕入や後かたづけ等では大変お世話になりました。

その当時の七尾市役所の職員の話では、震源地に近い輪島方面では、令和6年9月の豪雨災害もあり、土砂災害が復興の妨げとなり、なかなか復興には結びつかず復旧工事にも手間取っているとの事でした。

こちらでも、いつ南海トラフ地震が起きたても不思議ではないと言われています。明日は我が身と防災、減災対策に備えなければと、被災地を視るにつけ感じた3日間でした。



合同アクティビティ

クラブ単位ではなかなかできない事も、親子クラブやゾーン、リジョンでやれば出来ることもあります。そんな合同アクティビティのご紹介です。

6R・7R 合同アクティビティ 街の活性化にライオンズも一役を！

6R M 地区誌 Digital 委員
五藤 博子 (高知桜)

高知市を中心街にある、図書館オーテピアの西隣りの空き地利用について何年も検討が続いた。すぐ西には観光客に人気の“ひろめ市場”もある。

そして、ついに今年3月、市民待望の“おまち多目的広場”がオープンを迎える。風船を飛ばし大勢の市民が集まって、盛大にセレモニーが行われた。

高知市内には、13のLCがあるが、パラソル付きテーブルベンチ寄贈の提案が期の途中だったため、予算のこともあって賛同したのは9クラブで、3基の寄贈となった。

多くのクラブが力を合わせたら、ライオンズの活動を地域により強くアピールすることが出来る。

今期、ライオンズの地区シェアリングを利用してあと4基、寄贈の予定である。

テーブルの上には、高知在住の絵本作家 柴田ケイコさんの“ぼうしパンファミリー”の立体オブジェが可愛く載っていて、より親しみを感じさせる。

日曜日や祭日は色々なイベントがあり、すぐ横の追手筋の通りでは、300年の歴史を持つ日曜市が毎週開かれ、多くの人出で賑わっている。帯屋町に行くたびに、のぞいてみると、子どもやお年寄り、旅行客などよく利用していただいている、とても嬉しい気持ちになる。

市長さんからも各クラブに、感謝状をいただいた。



2R4Z 合同アクティビティ 愛媛ふれあいの海辺 愛ビーチ 清掃活動

2 R-4ZC
伊藤 稔 (西条)

令和7年9月21日(日)4Z合同アクティビティ「河原津海岸清掃活動」が行われました。各クラブより約15名ほどのメンバーが参加、総勢60名になりました。中でも西条石鎚ライオンズクラブLEOから、高校生7名の参加があり、活気あふれる様子に会員一同元気をもらいました。この海岸は、太古の昔2億年前から生息しているカブトガニの生息海岸でもあります。別場所水槽でふ化させて海に放流している海岸もあります。海岸清掃は、地域の方と一緒にできる事業でもありますので今後も地域・各団体にお声かけをして幅広く継続的にこの活動を呼びかけていきたいと思います。

最後に集まったゴミの量を見て、改めて海の環境問題の深刻さを実感しました。私たちの生活の中でもゴミの分別やポイ捨てをしないように意識して生活していく必要性を感じました。次回もたくさんの方々を呼びかけて取り組んでいきます。



四万十 LC& 大方 LC 合同アクティビティ 心の通う、笑顔あふれるアクティビティ

四万十 LC 会長
西尾 祐佐

例年ライオンズデーに合わせ、近辺の日曜日に開催しているアクティビティ事業を紹介させてもらいます。奉仕活動は主に海岸清掃をしていて、その後の懇親会は通年の事業を通して関りのある皆さんにご案内させてもらっています。同じ6R3Zの各クラブへのご案内はもとより大方LCとは合同例会での開催です。今年は生憎の雨でしたが役所の職員、四万十LC西土佐支部会員、ALTの先生達や会員の子ども達と老若男女に外国人も含め、多様な皆さんに参加いただきました。清掃で海岸のゴミも減り、会話や共同作業をすることで心の通う奉仕活動になりました。

その後は近場にあるキャンプサイトに移り合同例会とBBQでの懇親会。6R-RC三谷英子様、6R-3ZC田中信宏様にも例会訪問いただき、挨拶から始まり終盤は懇親も深まってより楽しく、お酒とお肉がさらに美味しくなりました。毎年感じていますが、奉仕活動と多種多様な皆さんとの交流もできるこのライオンズデーは本当に有意

義な時間で、大方LCとの合同開催で厚みと広がりのある時間となり、次につながる清々しくも温かく笑顔の多い合同アクティビティとなっています。



336-A地区 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会



委員長
春木 扶佐子（鳴門）

LCIFへの寄付は
100%

助けを必要とする
人々の支援に
LCIF Japan COMMUNITY
使われています

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) 日本

LCIFという言葉は ライオンズの会員なら聞いたことがあると思います。

LCIFがどんな団体で、私たちの寄付金がどのように役立てられているのか？

私たちの奉仕活動にどう活用できるのか？

今回はLCIFについての疑問にお答えしたいと思います。

Q LCIFってなに？

例えば地震や豪雨などの災害が起きたとき、一番早く現地に駆け付けるのは地元のライオンズクラブです。でも「助けたい」と思ってもすぐに資金を用意するのは難しい！クラブだけでは資金が足らない！そんなときにLCIFが動きます。世界中の仲間から集まった基金をすぐに現

地に届けて、食料、水、毛布、医療品などの支援を行う。ライオンズからの寄付金を困っている人のために届ける財団です。ライオンズの「We Serve(われわれは奉仕する)」を世界のどこにでも実現できるようにしてくれる心強い存在です。

Q LCIFはいつ誕生したの？

LCIF ライオンズクラブ国際財団は 1968年6月13日に国際協会によって設立されました。

正式名称は

Lions Clubs International Foundation で

LCIF(エルシーアイエフ)

頭文字を列記した略称です。

国際協会唯一の財団として、協会から独立した組織となっています。

財団はLCIF理事会によって運営され、理事長は、直前国際会長が務めます。

2025-2026年度理事長は、Lファブリシオ・オリベイラ(前国際会長)です。

Q LCIFの歴史について教えて！

設立当初、Lions International Foundation頭文字をとってLIF(リフ)と呼ばれていました。

1972年	最初の災害救援助成金 サウスダゴダ州 洪水に5,000ドル交付
1973年	メルビン・ジョーンズ・フェロー(MJF)プログラム創設 1,000ドル献金
1980年	国際理事会でLIFからLCIFに改名 全員毎年10ドル献金呼びかけ
1984年	青少年育成プログラムライオンズクエストの実施に向けてクエスト・インターナショナルとパートナーシップを開始
1985年	初の大災害援助交付金としてメキシコの地震被害に5万ドルを提供
1990年	視力ファーストプログラムが開始され、3,000万人を超える失明を予防
1999年	河川失明症・トラコーマ予防に向けてセンター・センターのパートナーシップ開始
2002年	ライオンズクエスト・プログラムの権利を獲得
2011年	東日本大震災に約14億円の支援
2025年	アントニオ・シャンパリマウド・ビジョン賞を受賞し100万ドルを獲得(視力におけるノーベル賞)

1968年創設以来、ライオンズ・インターナショナル唯一の国際財団として、13億ドル以上

の交付金を提供し、140万人の会員が世界各地で行う奉仕に力を与える活動をしています。

Q LCIFの使命は？

ライオンズクラブ、ボランティア、そしてパートナーが世界中の人々の暮らしにインパクトをもたらす人道奉仕と交付金を通じて、健康と福

祉を改善し、地域社会を強化し、恵まれない人々に支援を提供するとともに平和と国際理解を促進できるよう力を与えることです。

Q お金はどこから？

LCIFの収入源は主にライオンズ会員や善意の方からの寄付金と投資収益です。

Q 寄付は運営費にも充てられますか？

寄付金の100%が交付金を含む短期および長期のプログラムに使われます。したがって、会員からの寄付が一円たりとも運営費に使われることは

ありません。運営費と開発費は投資収益によって賄われ、現在のところ目標とする投資収益は、予想費用を十分に上回るものと見込まれています。

Q 今までLCIF交付金がもたらした成果は？

- ① 22,000件以上のLCIF交付金を提供
- ② 白内障手術を行い、視力を回復 970万件
- ③ ライオンズクエストプログラムの恩恵 世界の小・中・高生 2,000万人
- ④ 自然災害により甚大な被害を受けた被災復興支援 1億6,000万ドル
- ⑤ 糖尿病交付金事業による恩恵 500万人以上 糖尿病キャンププログラム
- ⑥ 学生たちに目の健康のための支援 5,000万人
- ⑦ アフリカへの支援2億2,300万ドル (トラコーマ撲滅、はしか予防ワクチン、小児がん治療)
- ⑧ ウクライナ難民支援 124件の交付金事業を通じて905万ドルの支援



Q LCIFに寄付をしたいのですが、他の慈善組織と比較してどうですか？

米国の最大かつ最も使われているチャリティー組織の評価機関「チャリティ・ナビゲーター」は、財務健全性、説明責任、透明性を指標としてLCIFは、6回連続で最上位4つ星を獲得しています。

「寄付は100%、支援を行うプログラムのためだけに使用しています」と言える財団は、あまりありません。LCIFはこの約束を維持するために、経費を抑え、注意深く資金を運用しています。

Q LCIFへの寄付は、どのような方法がありますか？寄付はクレジットでも行えますか？

・LCIFへの寄付は、会員個人、クラブ、地区、複合地区単位で行うことができます。また、会員ではない一般の皆様も寄付することができます。

・寄付は lcif.jp/donate からオンラインで行うことも、LCIFの日本国内口座に銀行振込いただくことも可能です。

・寄付は、クレジットカードまたはpaypayによる寄付を受け付けています。寄付はオンライン

で安全にかつ瞬時に行えます。為替レートは国際協会のレートではなく、ご利用のクレジットカード会社のレートとなります。

寄付はこちらから
LCIF(日本)HP
lcif.jp/donate



Q 寄付にはどんな分野がありますか？

「奉仕に力を」資金に寄付、または「災害援助資金」への寄付があります。

「奉仕に力を」資金

LCIFが支援するすべての奉仕活動への寄付。

災害援助資金

災害救援のために特別に用意された、LCIFへの寄付。

Q 自然災害の被災者支援で、私にできることは何でしょうか？

LCIFの「災害援助資金」への指定寄付をお願いいたします。この寄付のおかげで、LCIFはいかなる自然災害にも、発生直後からニーズに則した迅速な支援を行う被災地周辺のライオンズの

活動を支援することができます。

※「災害援助資金」への寄付は 地区及びクラブシェアリング交付金の受給対象となりませんのでご注意ください。

Q 何に使われているか、知りたいときは？

毎年2年遅れで報告書が、直接LCIFよりクラブに対して送られてきます。2年遅れというのは、報告で1年、翻訳に1年、かかるからです。

また、HPでも年次報告書を確認することができます。

<https://lcif.jp/assets/uploads/>

Q 交付金プログラムについて教えて？

LCIFでは、ライオンズ・インターナショナルの8つの重点分野での奉仕を支援する交付金を中心に、各種交付金を用意しています。あなた

・マッチング交付金 ・地区及びクラブシェアリング交付金
・食料支援交付金 ・災害援助交付金 ・小児がん交付金 ・視力交付金
・ライオンズクエスト交付金 ・レオ奉仕交付金 ・糖尿病交付金

のクラブ、地区が現在または将来的に利用できる交付金を見つけてください。



Q あなたがLCIFに贈る100ドルで、できる奉仕は？

- | | |
|----------|------------------------|
| 1. 人道支援 | はしか予防注射 100人分 |
| 2. 糖尿病 | 糖尿病の検査 18人分 |
| 3. 災害援助 | 被災地における4人分の援助物資 |
| 4. 小児がん | 子ども8人分の健康診断 |
| 5. 視力保護 | 白内障の手術2回分 |
| 6. 食糧支援 | 困窮状態にある14人分の食料 |
| 7. 青少年支援 | 1クラスへのライオンズクエスト授業(1年間) |
| 8. 環境保全 | 清潔な水を14人に提供 |



Q よく聞く！地区及びクラブシェアリングってなに？

地区及びクラブは、ライオンズ会計年度(7月1日～6月30日)に、地区は最低10,000ドル、クラブは5,000ドル以上を積み立てると寄付金の一定割合が自分たちの地域の奉仕活動に使える交付金で15年間蓄積されます。

今年度(2025年7月1日～2026年6月30日)及び

それ以降に行われる寄付は、来年度以降新たなる寄付および交付レベルが適用されます。

- ・地区寄付額(年度中) \$ 10,000～寄付 15%
\$ 20,000～20% \$ 30,000～30%
- ・クラブ寄付額(年度中) \$ 5,000～寄付 15%
\$ 10,000～20% \$ 20,000～30%

〈一例 クラブの場合〉

	寄付累積	寄付レベル	対象額	累積対象額	
2021年度	\$ 6,000	×15%	\$ 900	\$ 900	
2022年度	\$ 3,000	対象外	0	\$ 900	336-A地区が保有
2023年度	\$ 8,000	×15%	\$ 1,200	\$ 2,100	
2024年度	\$ 1,000	交付金事業使用	-\$ 1,000	\$ 1,100	
2025年度	\$ 10,000	×20%	\$ 2,000	\$ 3,100	次年度適用

※会計年度の交付可能額は**15年で時効**になります。

※会計年度に5,000ドル未満のクラブ寄付は、地区寄付に算入されます。

※交付金事業はLCIFの承認が必要で、「奉仕に力を」資金(用途無指定)への寄付のみが対象となります。

「世界を助けるための寄付」が「自分たちのまちを元氣にする資金」として戻ってくるのです。

Q メルビン・ジョーンズ・フェロー(MJF)プログラムってなに？

メルビン・ジョーンズ・フェロー(MJF)は、LCIFへの1,000ドルの寄付を表彰するものです。ライオンズクラブ国際協会の創設者メルビン・ジョーンズにちなんで1973年に設立されました。MJF寄付は個人(ライオンズ以外も含めて)クラブ、地区が行えます。まとめて寄付しても分割払いでもかまいません。初回

のMJFになると特別なラベル・ピン、記念楯、LCIF理事長から感謝状が贈呈されます。

※表彰を受けられるのは個人のみとなります。

※分割の場合、100ドル以上の寄付を続けて10年以内に1,000ドルに達すれば、MJF一口にカウントされます。ただし100ドル以下は、累積されません。

Q 累進メルビン・ジョーンズ・フェロー(PMJF)プログラムってなに?

「累進MJF」とは、初回のMJF寄付に加えて1,000ドルを寄付するごとに、特別なPMJFピンが贈られます。これは5万ドルの寄付まで適用

され、寄付レベルに応じたピンが贈られます。寄付額が10万ドルに達すると人道支援パートナーとして表彰されます。

Q 100/100 クラブ表彰ってなに?

正会員および終身会員が全員1人100ドル以上の寄付をした場合、クラブに表彰状とバナーパッチを贈呈します。

Q 世界での主な支援活動は?

● インドでの飢えとの闘い

西ベンガル州シリグリで十分な食品を手にできない人々に主食のロティ(パン)を配布。本事業を通じて毎日、約5,000食を提供し、インドの飢えと栄養不足の解消に取り組んでいます。

● ライオンズクラブ・世界中の若者に力を与える

今年は、クエストプログラムにLCIFが最初の交付金を提供してから40年目の節目に当たります。最近、カリキュラム、研修補助教材の全面改訂が行われました。40年以上に渡り、青少年の生活を変え、世界的に拡大したプログラムは進化を続けながら、子どもたちがいじめや薬物乱用を防ぐスキルを身に付け、自ら人生を切り拓く支援をしていきます。

● 大災害支援

2024年4月に台湾の花蓮市でマグニチュード7.4地震が発生し、多くの建物が倒壊しました。LCIFは直ちに緊急援助交付金と大災害援助交付金を合わせて13万ドルを提供しました。特に日本のライオンズからは60万ドル相当の寄付が寄せられ、隣国としての強い連帯を示しました。

● キャンプ・スウィート・ライフの拡大

キャンプ・スウィート・ライフはアメリカミネソタ州南部で8~15歳の1型糖尿病を持つ児童を対象とした宿泊型キャンプです。医療用品、カウンセラー研修、事業費用として糖尿病交付金3万7,500ドルを提供し、子どもたちは自己管理の方法を学び、責任感を育むことが出来ます。



Q 日本との関わりは?

日本でも1970年代から活発に参加しています。実は日本は、世界の中でも寄付の多い国なんです。多くのクラブや会員が、LCIFを通じて世界の人々

を支えています。又、阪神・淡路大震災、東日本大震災、西日本豪雨、能登半島地震など、大きな災害の度にLCIFの支援金が届けられています。

Q 日本での災害支援は?

2014年7月以降の10年間にLCIFが提供した災害援助交付金額は824万ドルです。主な支援先は、2016年熊本地震、2017年九州北部豪雨、2018年

北海道胆振東部地震、2019年台風19号水害、2020年7月豪雨災害(九州)、2024年能登地震・豪雨災害

Q 能登半島地震では？

2024年1月1日、能登半島で発生した大地震によって、多くの人々が何カ月にも渡り避難所暮らしを余儀なくされました。後に発生した水害への支援もあわせて、LCIFはこれまでに30万ドルの大災害交付金を提供し、LCIF能登半島地震・水害復興支援委員会を通じて、水、食料、衛生用品、使い捨てカイロ、段ボールベッド、土嚢袋などを軽トラックで里山の被災者に届け、仮設住宅に除

雪機を整備するなどの緊急かつ日々の生活を支える支援を行ってきました。現在、中長期復興支援に移行し、本格的な準備が始まっています。

LCIFは、物資提供だけでなく、地域の絆を深め、住民の生活を支える重要な役割を果たし、ライオンズクラブの活動は、地域の困難を乗り越えるための大きな力となり、住民たちに希望と安心を与えてています。

Q 直近の日本における交付金事業金額は？

2019-2020	156万3,613 ドル	2022-2023	104万2,838 ドル
2020-2021	101万3,446 ドル	2023-2024	175万9,468 ドル
2021-2022	298万5,028 ドル		

Q 336-A地区への交付金は？

2019-2020 \$ 34,877	マッチング 地区シェアリング 3件	インドネシアの小学校改修 医療セミナー・糖尿病啓もうパレード・感染症対策	\$ 29,817 \$ 5,060
	災害準備	フォークリフト寄贈	\$ 26,000
2020-2021 \$ 59,302	新型コロナ 2件	予防対策機器・検温サーモカメラ寄贈	\$ 17,150
	環境保全	土佐本山登山口に循環式トイレ設置	\$ 9,580
	献血	献血広報車寄贈	\$ 4,177
	子ども食堂	調理器材寄贈	\$ 2,395
2021-2022 \$ 17,902	ライオンズクエスト	ライオンズクエスト	\$ 11,700
	青少年	中学生女子ソフトボール大会	\$ 2,362
	その他	福祉協議会へ移動入浴車贈呈	\$ 3,840
	子ども	児童養護施設の子どもたちのクリスマス会	\$ 5,496
2022-2023 \$ 53,185	青少年	中学生ソフトボール大会	\$ 7,030
	食料支援 2件	子ども食堂に冷蔵庫贈・低所得世帯への食料支援	\$ 10,247
	その他 4件	地域へのAED寄贈・公園に車イス寄贈・時計台寄贈 公園遊歩道整備支援	\$ 10,191 \$ 20,221
2023-2024 \$ 36,309	ライオンズクエスト	ライオンズクエスト	\$ 11,300
	災害支援	消防署広報車寄贈	\$ 5,700
	障がい児・者	特別支援学校のクリスマスパーティー	\$ 804
	環境保護 2件	植樹・地域河川敷の清掃活動	\$ 8,105
	青少年 5件	ティーボール大会・青少年ラグビー大会 小学生バレーボール大会・中学生ソフトボール大会	\$ 7,775
	その他	子ども傘塗り体験 公園ベンチ寄贈	\$ 2,625

マッチングとライオンズクエスト以外は 地区及びクラブシェアリング交付金事業です。

LCIFは ライオンズに奉仕し、ライオンズは世界に奉仕します。

この原稿を書くために私自身もLCIFについて勉強の機会をいただきました。

交付金事業の一つひとつに、感動的なストーリーがありました。ウィサークの精神で善意の寄付が集まって、支援を求める多くの人々の暮らしを変えることが出来ることに改めて気づかされました。すべての活動は、皆さまからの善

意の寄付を通じて世界に希望を届けることができます。

もっとLCIFのことを知りたいのです！わたしたちの財団を！

これからもご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

6R地区委員報告

和食を学びに来日の外国人シェフに 「抹茶体験教室」

海外5カ国の料理人6人(米国、ロシア、コロンビア、コスタリカ)が高知市のRKC調理製菓専門学校で、和食の基礎を2週間にわたって学んだ。

和包丁の扱い方はもちろん、本枯れ節を削ってだしを取ったり、田舎寿司やみそカツラーメンの作り方なども学んだ。

魚のさばき方やカツオのわら焼き体験をしたり、農家を視察したり、高知の味や風土をどっぷり味わい、それぞれの国に「高知の味」を持ち帰った。

高知桜LCの会員14名は、受講の後に茶道体験をしていただこうと計画した。

抹茶の点て方いただき方、和菓子の食べ方、お茶のお客様への出し方等教えた。

皆、興味深々で、さすがシェフ理解が早く、楽しんで挑戦していた。言葉の壁は笑顔と動作で乗り越え、楽しい国際交流で盛り上がった一日となった。

五藤 博子(高知桜)

日 時 令和7年7月22日(火)
場 所 RKC調理製菓専門学校



クラブアクティビティ報告

「でちこんか2025」今年も参加させて頂きました

鬼北 LC 会長
山下 智恵

昨年合併20周年を迎えた鬼北町最大のイベント「でちこんか」に、今年も鬼北ライオンズが参加しました。会場では約2,500人分のきじ鍋が振舞われる他、県内外から100以上の出店団体が軒を並べて販売する「びっくり市」や「鮎・アマゴのつかみ取り」など催しが盛りだくさんで2日間に渡って約2万人が来場します。

我が鬼北ライオンズは、家で眠っている未使用の電化製品や高級酒・頂き物などを持ち寄って、毎年「掘り出し物市」を出店していますが、良いものがお値打価格で買えるとあって、オープン30分前にはたくさんのお客様が押し寄せて品定めを始めます。会員の子どもたちも売り子となってお客様の人気を集め、開店と同時に我先にとお買い求めいただき、午前中には山のように積まれた商品が完売しました。会員は3品以上商品を持ち寄るのですが、意外な人気

商品はお返しに頂くような今治タオルで、今年も100枚以上あったタオルがあっという間に売り切れとなりました。お昼頃に来たお客様は完売となった鬼北ライオンズの店から残念そうに帰られ、毎年のことながら申し訳ない気持ちとなります。この「掘り出し物市」での売上金は、出店料を差し引いた全額が奉仕事業の資金となるため、来年は今年以上の品揃えを目指して、一年間せっせと商品をため込むのであった。



厚生労働大臣表彰受賞

献血功労者表彰 須崎ライオンズクラブ

「私たちはこれからも、若年層も含めた献血者の増加に努力していきます」

竹崎会長の力強い宣言が、表彰式場に響き渡りました。

令和7年10月17日、高知県庁において献血運動推進協力団体への表彰式が行われ、須崎ライオンズクラブが県内唯一、厚生労働大臣表彰を受賞しました。この賞は献血事業の推進に組織的に協力し、その実績が優秀な団体及び献血思想普及のための広報活動等を積極的に行い、献血の推進に多大な功績が認められる団体に対して贈られるものです。

須崎ライオンズクラブでは、三十数年にわたり、献血推進活動を行ってきました。人口が減少し、高齢化が進み、献血可能な年齢層が少なくなっている中で、長くこの活動を続けて来られたのは、ひとえに二人の熱心なライオンのおかげです。

そのお一人が、故竹内三千夫ライオンです。二十年近く毎月の献血に参加され、幟を立て、来られた方に挨拶をされ、献血運動に身を捧げられました。惜しくも十一年前に急逝されました。その遺志をついで現在まで長きにわたって、献血推進運動の中心となっているのが、又川泰一ライオンです。又川ライオンは、献血のみならず、骨髓ドナー登録にも造詣が深く、ドナー登録説明員の資格を取得し、献血会の都度、ドナー登録の勧誘をしています。本当に頭が下がる思いがします。

このお二人を中心として、須崎ライオンズクラブの力を結集し、努力を続けてきた、その成果がここに厚生労働大臣表彰という晴れがましい形となったことは、クラブ会員一同の喜びとするところです。

なお、当日まで知りませんでしたが、やはり献血運動推進団体として高知県知事表彰を受けられた有限会社竹村綜合建設さんは、何と金谷光人第二副地区ガバナーが経営される会社で、互いに驚いたことでした。やはり、献血といえばライオンズクラブということなのでしょう。

須崎ライオンズクラブはこれからも、献血活動に邁進していきます。

須崎 LC M・地区誌・Digital 委員長 藤戸 啓朗



SNSの、もしもの備え

大地震が起きたら SNSは使えない!?

— 災害時いつものメッセージアプリやSNSはつながらないかも —



大きな災害が起きたとき、私たちがいつも頼りにしているSNSは、必ずしも味方になってくれるわけではありません。特に今、確実に起こると言われている「南海トラフ巨大地震」。

大地震が起きた場合、四国を含む広い地域で、携帯基地局の倒壊、通信網の混雑、停電による設備停止など同時多発的に起こる場合があります。

家族や友人、大切な人たちの安否を確かめたいのに、“LINEが送れない”“電話が繋がらない”“インターネットがまったく繋がらない”——そんな状況になる可能性があります。



でも、どうか不安になりすぎないでください。

通信が途絶えたとしても、家族や友人、大切な人たちの安否を確かめる方法は、まだいくつも残されています。



◆災害用伝言ダイヤル(171)・伝言板サービス
電話回線が混雑しても、短いメッセージを音声または文字で残して共有できる仕組み。家族・友人が別の場所にいても、互いの安否を確認しやすい。



◆無料Wi-Fi「00000JAPAN」(ファイブゼロジャパン)
大規模災害時に自動で開放される無料Wi-Fi。携帯回線が繋がらない時でも、スマホやタブレットをインターネットに接続できる。



◆避難所の掲示板や安否情報
避難所には、自治体が設置する掲示板があり、避難者の名前、メッセージ、情報が張り出される。紙ベースでも情報を得られるため、通信が完全に途絶っていても確認が可能。

たとえば、
こんな手段があります。



SNSの、もしもの備え

非常時の新しい通信手段

—衛星がつなぐ、安心のネットワーク—



これまで紹介してきた従来の手段に加えて、近年注目されているのが『スターリンク』という衛星インターネットサービスです。地震などの大きな災害が起きたとき、私たちが頼りにしている地上の通信網は壊れたり混雑したりして使えなくなる可能性があります。スターリンクは、地上の通信インフラに依存せず、衛星を介してインターネットに接続できるため、非常時でも情報のやり取りや安否確認の手段の一つとして期待されています。

スターリンクは、上空にある多数の小型通信衛星を利用して、“空が見える場所なら、どこでもインターネットにつながる”という特徴を持っています。地上の基地局に依存しないため、災害でアンテナや通信設備が損傷しても影響を受けにくいのが大きな強みです。

停電中や山間部、被災地でも安定したインターネット環境を作れる可能性があります。さらに、個人のスマートフォンからも接続が可能になってきています。

例えば、KDDI(au)が提供している「au Starlink Direct」(他社キャリアもOK)というサービスがあります。

まだ一般家庭で広く使われているわけではありませんが、災害対策の“新しい選択肢”として自治体や企業でも導入が進んでおり、万が一地上回線が完全に途絶えた場合、スターリンクは最後の通信手段として頼れる存在になるかもしれません。

日ごろからこれらの手段を知っておくことで、万が一のときにも落ち着いて行動することができます。特にスターリンクのような衛星インターネットサービスは、契約や専用端末が必要な場合があります。また、現段階では使用しているスマートフォンが対応していないこともあります。

だからこそ、事前にどの手段が使えるのかを知り、準備や検討をしておくことが大切です。災害時に慌てず、最適な方法を選べるようにしておきましょう。



00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)とは?

- ・災害時、ドコモ・au・ソフトバンクが垣根を越えて無料開放する公衆Wi-Fi
- ・キャリアに関係なく誰でも簡単に接続可能
- ・接続方法:スマホのWi-Fi設定で「00000JAPAN」を選ぶだけ
- ・パスワードや認証なしで利用でき、時間・回数の制限もない
- ・利用場所:通常のフリーWi-Fi設置箇所や、避難所などの臨時アクセスポイント
- ・注意点:誰でも使える分、なりすましWi-Fiや暗号化されていないサイトには注意
個人情報やクレジットカード情報のやり取りは控える

336-A 地区会員現況

期間：2025年7月度～2025年9月度

R	Z	クラブ名	期首	9月末	増減	家族会員	
1	1	松山ホスト	29	30	1	0	
		松山東	52	55	3	0	
		砥部	48	49	1	10	
		松山つばき	51	51	0	35	
		松山城山	50	52	2	0	
	2	Z小計	230	237	7	45	
		松山道後	56	63	7	0	
		伊予	47	49	2	0	
		松山西	60	62	2	13	
		松前	20	19	-1	0	
3	1	松山北	26	26	0	6	
		松山湯築	43	44	1	2	
		松山城東	23	24	1	0	
		Z小計	275	287	12	21	
		松山中央	107	107	0	0	
	2	松山南	38	39	1	0	
		松山金龜	55	56	1	5	
		松山白鷺	66	70	4	0	
		松山センチュリー	35	35	0	4	
		Z小計	301	307	6	9	
R合計							
806 831 25 75							
2	1	新居浜	54	57	3	2	
		新居浜中央	12	12	0	0	
		新居浜別子	35	35	0	2	
		新居浜ひうち	56	54	-2	0	
		Z小計	157	158	1	4	
	2	今治	59	59	0	5	
		今治中央	50	49	-1	0	
		今治東	38	37	-1	2	
		今治くるしま	33	34	1	2	
		Z小計	180	179	-1	9	
3	3	伊予三島	33	36	3	1	
		川之江	36	38	2	9	
		伊予土居	55	55	0	14	
		四国中央法皇	33	33	0	2	
		川之江中央	18	18	0	0	
	4	Z小計	175	180	5	26	
		西条	67	69	2	25	
		東予	43	43	0	9	
		伊予小松	12	12	0	0	
		西条石鎌	41	42	1	10	
Z小計							
163 166 3 44							
R合計							
675 683 8 83							
1	1	八幡浜	39	39	0	0	
		大洲	39	39	0	0	
		三瓶	13	13	0	0	
		内子	39	39	0	16	
		伊方	32	33	1	0	
	2	八幡浜みなと	35	35	0	0	
		Z小計	197	198	1	16	
		宇和島	43	43	0	0	
		宇和	42	43	1	10	
		伊予吉田	16	16	0	0	
2	2	南宇和	32	31	-1	5	
		野村	14	14	0	0	
		鬼北	28	29	1	5	
		Z小計	175	176	1	20	
		R合計	372	374	2	36	

R	Z	クラブ名	期首	9月末	増減	家族会員
1	1	高松	21	26	5	0
		小豆島	49	50	1	11
		小豆島東	24	25	1	0
		高松葵	48	48	0	5
		高松南	18	19	1	7
	2	高松フェニックス	24	24	0	5
		Z小計	184	192	8	28
		高松東	43	40	-3	7
		高松西	58	58	0	8
		直島	22	21	-1	0
2	4	八栗	22	21	-1	7
		高松源平	31	31	0	7
		Z小計	176	171	-5	29
		東かがわ	31	31	0	9
		長尾	28	28	0	0
	3	志度	61	62	1	17
		三木さぬき	25	24	-1	6
		さぬき未来	23	28	5	4
		Z小計	168	173	5	36
		高松玉藻	23	24	1	8
4	4	高松栗林	32	32	0	1
		高松紫雲	54	54	0	13
		高松空港	18	19	1	0
		高松北	24	25	1	5
		Z小計	151	154	3	27
	5	R合計	679	690	11	120
		丸亀	87	86	-1	0
		坂出	30	32	2	4
		坂出白峰	119	118	-1	60
		綾歌郡	22	22	0	6
5	1	丸亀京極	53	50	-3	18
		うたづ	37	37	0	9
		坂出シニア	22	21	-1	0
		坂出中央みらい	20	20	0	0
		Z小計	390	386	-4	97
	2	観音寺	46	46	0	0
		善通寺	37	43	6	3
		多度津	56	59	3	20
		三豊	40	40	0	0
		こんびら	44	44	0	22
6	2	観音寺中央	17	16	-1	0
		Z小計	240	248	8	45
		R合計	630	634	4	142
		須崎	23	24	1	0
		土佐	45	46	1	0
	3	伊野	26	26	0	5
		佐川越知	16	16	0	3
		中土佐	18	18	0	0
		Z小計	128	130	2	8
		四万十	49	49	0	0
7	2	土佐清水	34	34	0	0
		宿毛	14	15	1	0
		大方	20	20	0	3
		Z小計	117	118	1	3
		R合計	492	491	-1	73

R	Z	クラブ名	期首	9月末	増減	家族会員
1	1	高知鷹城	43	43	0	8
		室戸	21	21	0	4
		南国	21	25	4	0
		土佐香南	27	28	1	6
		高知鏡川	33	32	-1	2
	2	Z小計	145	149	4	20
		高知黒潮	50	52	2	0
		土佐山田	9	8	-1	1
		土佐本山	20	19	-1	3
		高知南	30	30	0	0
2	3	高知よさこい	42	40	-2	10
		Z小計	151	149	-2	14
		高知桂	32	33	1	2
		高知中央	48	48	0	14
		高知安芸	29	29	0	1
	4	高知りょうま	58	58	0	18
		Z小計	167	168	1	35
		R合計	463	466	3	69
		小松島	23	23	0	11
		阿南	49	49	0	15
3	1	阿波勝浦	18	18	0	0
		徳島マリンピア	32	32	0	0
		徳島すだち	65	70	5	0
		Z小計	187	192	5	26
		石井	18	19	1	5
	2	徳島城山	37	35	-2	10
		上板	28	29	1	0
		徳島吉野川	24	24	0	0
		土成	29	30	1	0
		徳島やまもも	20	20	0	0
4	9	Z小計	156	157	1	15
		R合計	343	349	6	41
		徳島眉山	23	24	1	0
		鳴門	35	36	1	0
		藍住	27	27	0	0
	2	板野	24	24	0	0
		鳴門西	19	20	1	0
		北島	29	30	1	1
		徳島みらい	35	40	5	0
		Z小計	192	201	9	1
5	2	阿波池田	25	25	0	0
		脇	36	37	1	2
		鴨島	32	32	0	7
		阿波	25	25	0	6
		徳島藍	12	12	0	0
	3	Z小計	130	131	1	15
		R合計	322	332	10	16
		地区合計	4,782	4,850	68	655

* 2025年9月末時点でのServannAでの月別会員数となります。
 ServannAと国際協会のMyLCIとは切断されているため情報の反映に時差が生じています。

家族会員数は再掲です。

* 会員退会数には以下のクラブの物故会員も含まれております。

松山湯築LC1名、松山南LC1名、新居浜LC1名、南宇和LC1名、高松西LC1名、丸亀京極LC2名、高知LC1名、土佐清水LC1名、土佐山田LC1名、土成LC1名、阿波LC1名

物故会員



① 坂本 稔 (87歳)
② 7R-2Z 土佐山田
③ 2025年7月20日



① 凝地 郁夫 (73歳)
② 3R-2Z 南宇和
③ 2025年7月25日



① 小川 隆 (73歳)
② 4R-2Z 高松西
③ 2025年8月3日



① 中尾 午朗 (91歳)
② 5R-1Z 丸亀京極
③ 2025年8月6日



① 浦岡 久敬 (72歳)
② 6R-3Z 土佐清水
③ 2025年8月9日



① 大木 勝也 (69歳)
② 1R-3Z 松山南
③ 2025年8月15日



① 東富 晋幸 (90歳)
② 6R-1Z 高知
③ 2025年8月16日



① 菅 武廣 (82歳)
② 1R-2Z 松山湯築
③ 2025年8月17日



① 井内 貞利 (89歳)
② 9R-2Z 阿波
③ 2025年8月27日



① 角野 昭二郎 (84歳)
② 5R-1Z 丸亀京極
③ 2025年9月7日



① 尾形 信之 (83歳)
② 8R-2Z 土成
③ 2025年9月12日



① 田村 征夫 (84歳)
② 2R-1Z 新居浜
③ 2025年9月15日



① 小松 和子 (79歳)
② 7R-2Z 高知よさこい
③ 2025年10月09日



① 中越 忠男 (86歳)
② 7R-1Z 高知鏡川
③ 2025年10月17日

①氏名・享年 ②LC名

③没年月日 (2025年7月1日~10月20日)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

地区役員の大役を拝命し、身の引き締まる思いです。336-A地区の各クラブが地域を想い、絆で結ばれた歩みをこれからも輝かせていくよう、力を尽くしてまいります。

1R M・地区誌・Digitel委員 芳野 妙

地区誌の発行にあたり関係各位の皆様には、大変お世話になりました。

今後各クラブの周年事業等、ライオンズクラブの素晴らしい活動を地区誌の誌面を通じて、読者の皆様に紹介できればと思っています。

2R M・地区誌・Digitel委員 貴田 敏幸

今年度の地区誌第2号が無事発行されうれしく思います。初めての地区委員で分らない事ばかりですが、他の委員さんと力を合せて皆さんが楽しく読んで頂ける地区誌作りを頑張りますので今後とも何卒よろしくお願い致します。

3R M・地区誌・Digitel委員 清家 達也





ライオンズクラブ国際協会336-A地区

第72回 地区年次大会 徳島大会

We Serve!



大会スローガン

すいと とくしま

祭り 心踊る 水都徳島



2026年4月4日 土

◆記念ゴルフ大会

◇ゴルフ場

レオマ高原ゴルフ俱楽部
サンピアゴルフクラブ

◆日韓親善国際交流の夕べ

徳島グランヴィリオホテル



2026年4月5日 日

◆指名選挙会

◆代議員分科会

◆代議員総会

◆大会式典

徳島県郷土文化会館 あわざんホール

◆ガバナー晩餐会

JRホテルクレメント徳島

四国の東部に位置する自然豊かで伝統文化が魅力の徳島県。毎年8月には400年以上の歴史を持つ日本三大盆踊りのひとつ「阿波おどり」が開催され、全国から多くの観光客が訪れます。

また、鳴門の渦潮の雄大な景観や祖谷渓の美しい渓谷など見どころもいっぱい。すだち、レンコン、鳴門鯛、阿波尾鶏など、地元の食材も豊富で郷土料理でお待ちしております。



We Serve

2025～2026年度
ライオンズ国際協会
336-A地区 徳島キャビネット事務局
〒770-0923 徳島市大道4丁目45-2
オレンジビル3階
tel 088-624-5522 fax 088-678-2569
mail:tokushimacab@lci336a.org



<https://lci336a.org>

地区誌 四国 10・11・12月
2025年・第132号 No.2

- ・発行日 令和7年12月15日
- ・発行所 336-A地区 徳島キャビネット事務局
- ・発行人 向 和人
- ・企画編集 M・地区誌・Digital委員会
- ・印 刷 (有)企画室ロイヤル・サービス